

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和5年6月分:速報)



<対世界>

- 輸出総額:1兆109億円(伸率:+10.6%) ⇒ 14か月連続のプラス
 - ・順位:2位、6月としては1位
 - 【順位は、昭和54(1979)年1月以降(534か月、6月は45か月)による。以下同じ。】
 - ・増加品目:自動車(同+68.1%)、半導体等電子部品(同+33.6%)
- 輸入総額:8,562億円(伸率:▲25.9%) ⇒ 2か月連続のマイナス
 - ・順位:17位、6月としては3位
 - ・減少品目:原粗油(同▲50.5%)、石炭(同▲39.4%)
- 差引額:1,547億円 ⇒ 3か月ぶりの輸出超過
 - ・順位:42位、6月としては6位
 - 為替レート:2023年6月:139.24円/ドル(2022年6月:130.35円/ドルと比べ6.8%の円安)

<品目別動向>

○輸出

自動車(1,675億円 → 2,817億円、伸率:+68.1%)は、アメリカ(423億円 → 732億円、同+72.9%)及びEU(93億円 → 390億円、同4.2倍)向けが増加し、5か月連続のプラスとなった。

また、半導体等電子部品(871億円 → 1,164億円、同+33.6%)は、香港(241億円 → 394億円、同+63.6%)及び韓国(219億円 → 302億円、同+37.8%)向けが増加し、17か月連続のプラスとなった。

一方、鉄鋼(983億円 → 821億円、同▲16.4%)は、中国(127億円 → 59億円、同▲53.9%)及び韓国(170億円 → 110億円、同▲35.2%)向けが減少し、4か月連続のマイナスとなった。

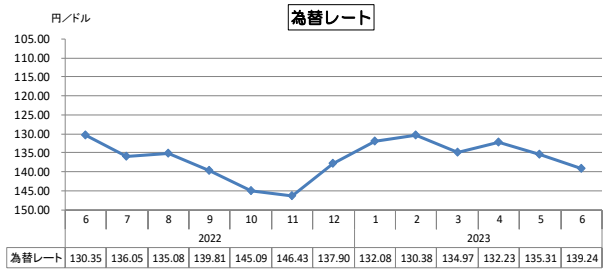
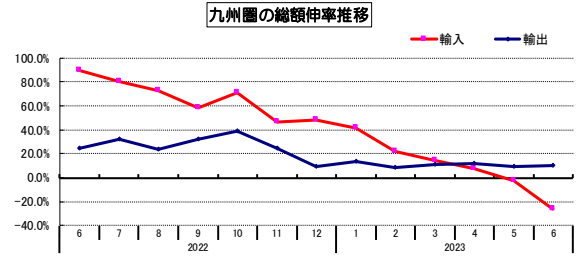
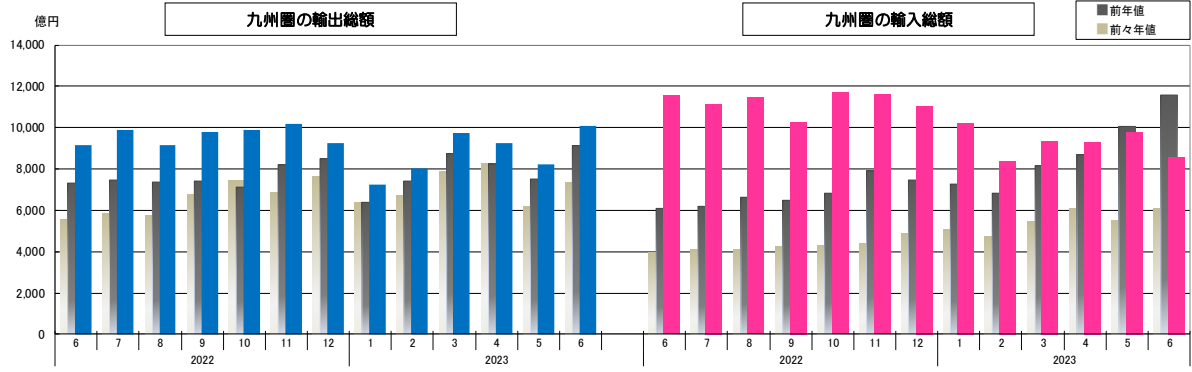
○輸入

原粗油(359万KL → 246万KL、伸率:▲31.6%、3,484億円 → 1,726億円、同▲50.5%)は、数量、価額ともに減少し、3か月連続のマイナスとなった。

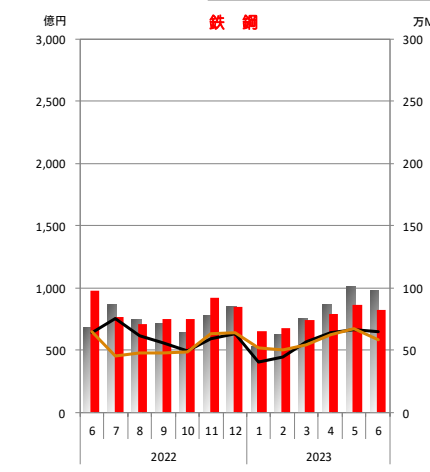
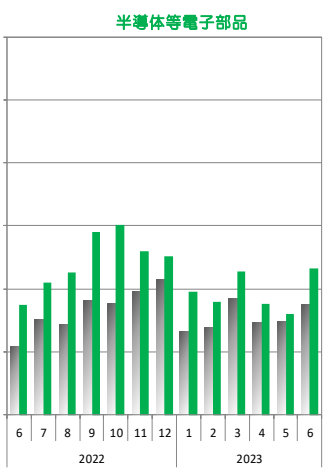
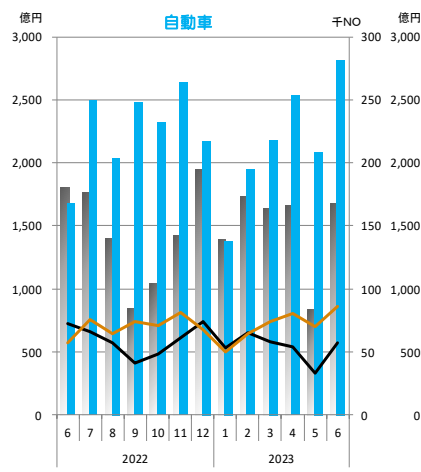
また、石炭(396万MT → 354万MT、同▲10.7%、1,927億円 → 1,167億円、同▲39.4%)は、数量、価額ともに減少し、2か月連続のマイナスとなった。

一方、航空機類(3億円 → 80億円、同30.1倍)は、EU(1億円 → 80億円、同75.6倍)からが増加し、5か月ぶりのプラスとなった。

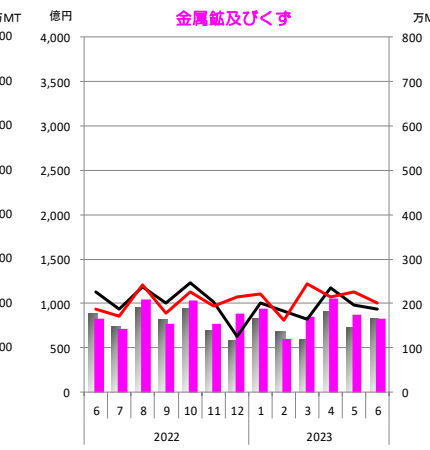
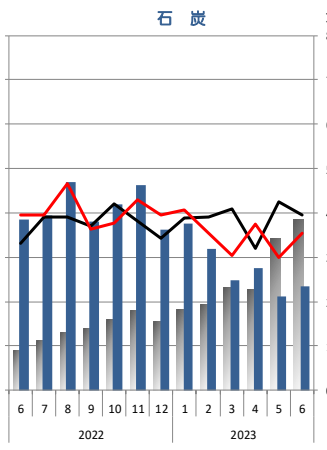
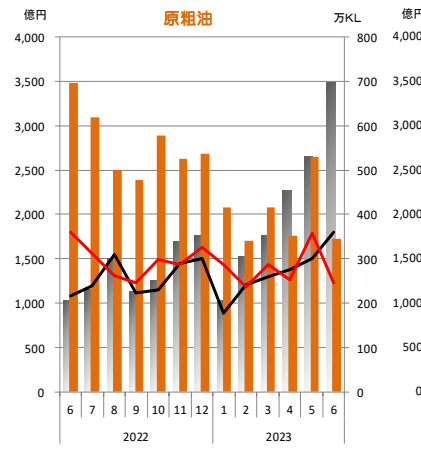
令和5年6月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。